帝釈山と田代山湿原

【山行日】2022 年 6 月 18 日（土）
【コース】松戸駅 5:30＝猿倉北登山口 9:30/9:45ー小田代 11:10ー田代山 11:45/12:05ー弘法大師堂 12:20ー帝釈山 13:50/14:00ー弘法大師堂 15:20/15:35ー猿倉北登山口 17:10
【メンバー】L：N 宮、N 村、M 山、Y 口、T 内、H 谷、A 原、K 田（記）

登山口の駐車場が満車になるから、早めに出発する事になった。松戸出発 5:30。久しぶりの早起き。朝焼けがとても美しくて、幸先いい。
高速道路を順調に走って、一路南会津へ。
登山口近くの駐車場は、すでにほぼ満車に近く、道路脇の空いているところに停めた。早めにスタートして良かった。
新緑の中、猿倉登山口へ向かう。川のせせらぎを聞きながら、シダと大岩の中をぬいながら急登を進んで行く。道の脇に咲いている白い花は、Y 口さんによると、スダヤクシュというお花だそう。忘れないようにメモ。ブナやダケカンバの幹がくねくねと曲がっている。雪深い場所なのだろう。
登山道には丸太の階段が作られている。整備の途中のようで、丸太や木材が積まれていた。ありがたい事だ。
滑らないように注意しながら歩く事 1 時間半ほどで目の前が開けて、小田代、そして田代山湿原に到着。平らな道と風が心地良くて、つい歩みが遅くなる。湿原の向こうに雪を抱いた平ヶ岳が見える。木道に沿ってチングルマ、フワフワになりかけのワタスゲ、タテヤマリンドウ、ヒメシャクナゲが一面に広がっていた。

帝釈山への道のりは、思っていたより遠い。一気に下って（帰りは登るのか、と皆んなでうんざり）行く途中でお目当てのオサバグサが姿を見せ始め、写真を撮りながら歩いた。

通り過ぎる方が「この先に群生してますよ」と教えてくれた、その言葉の通り、進むにつれて道の脇にはオサバグサがたくさん咲いていた。
帝釈山の山頂には新しい碑が建っていて、その周りで記念撮影。本当なら大展望が開けるはずだけれど、残念ながらガスが上がっていて視界はない。天気も怪しいのですぐに下山することにした。行きには通り過ぎた田代山避難小屋で休憩した。田代山避難小屋は、針葉樹の林の中にあり、小屋内は真新しい畳が敷かれていた。ト

イレもあり、小屋の周囲にはベンチが数個。通り過ぎるのが惜しいくらい。今度は時間をかけて来てみたい。
田代湿原は木道を一方通行で歩くので、来るときとは反対の方向へ進んで下山。周りには私達の他には誰もいない。チングルマが一面に咲く湿原の彼方に雪をかぶった会津駒ケ岳などの山々。
こんなに遠くまで皆んなで来ることができて良かった。リーダーと運転してくれたＮ宮さん、Ｔ内さんに感謝。ありがとうございました。